

平成 30 年度 神経・精神・行動学コース:精神医学筆記試験 2018.12.21

1. 睡眠について正しいのはどれか、1 つ選べ。
 - A. 夢を体験するのは浅いノンレム睡眠の時期である。
 - B. 深いノンレム睡眠は朝方に向けて減少する。
 - C. レム睡眠は緩徐な眼球運動が特徴である。
 - D. 乳幼児ではレム睡眠が成人より少ない。
 - E. 総睡眠時間は青年期以降一定である。

2. 67 歳の女性。不眠を主訴に来院した。1 ヶ月前から夜になると両端に虫が這うような不快な感覚を自覚していた。この不快感は安静にしていると増強するが、足を動かすことで軽減する。かかりつけ医からは経過をみるように言われたが良くなりず、足を動かしたい欲求が強く寝付けなくなり受診した。四肢の筋トヌスは正常で筋力低下を認めない。腱反射は正常で、Babinski 徴候は陰性である。感覚障害と小脳性運動失調とを認めない。歩行に支障はなく、日常生活動作にも問題はない。血液生化学検査では、血清フェリチンを含めて異常を認めない。
本症例の疾患について正しいものはどれか、2 つ選べ。
 - A. 周期性四肢麻痺を伴う場合が多い。
 - B. 血清カリウムが関係していることがある。
 - C. 鉄分の不足が関係していることがある。
 - D. 睡眠脳波(ポリソムノグラフィ)で、睡眠潜時の短縮が見られる。
 - E. カフェインが関係していることがある。

3. 「問題 2」の患者について適切な治療薬はどれか、1 つ選べ。
 - A. β 遮断薬
 - B. 筋弛緩薬
 - C. 抗コリン薬
 - D. ドパミン受容体作動薬
 - E. アセチルコリンエステラーゼ阻害薬

4. 27 歳の女性。突然起こる動悸や息苦しさを主訴に来院した。約 1 ヶ月前、出勤時の電車内で突然、動悸と冷や汗が出始め次第に呼吸が荒くなり、「このまま窒息して死んでしまうのではないか」という恐怖感に襲われた。途中の駅で電車を降りたところ、症状は約 10 分で軽快した。以降も電車の中と自宅で 1 回ずつ同様の症状があった。心電図を含めた精査を行ったが、異常を認めない。どのような場所においても「まだ症状が起きるのではないか」という心配が続いている。
このような心配が持続する症状はどれか、1 つ選べ。
 - A. 心気妄想
 - B. 自生思考
 - C. 閉所恐怖
 - D. 妄想気分
 - E. 予期不安

5. 「問題 4」の患者への治療として最も適切なものはどれか、1 つ選べ。
 - A. 気分安定薬を投与する。
 - B. 抗パーキンソン病薬を投与する。
 - C. 抗うつ薬を投与する。
 - D. 抗精神病薬を投与する。
 - E. 無投薬で経過をみる。

6. 57歳の男性。食欲不振と肝機能障害のため、入院中である。20歳代から連日日本酒3合を飲んでしたが、仕事に支障をきたすことはなかった。3年前から飲酒量がさらに増加し、毎日5合以上飲むようになった。1週間前から全身倦怠感を自覚し、仕事を休み始めた。それでも飲酒を続けていたが、3日前に著しい食欲不振で食事を摂れなくなったため外来受診し、血液検査で肝機能障害が認められ入院することになった。入院時から夜間不眠があり、入院2日目から落ち着きなく歩き回り、夜間には「動物が壁を這っている」と訴えて不穏になった。この時手指の粗大な振戦および著大な発汗がみられ、自分が入院していることが分からない様子であった。入院時の頭部CTで異常を認めなかった。

この病態を呈する可能性の高い因子として不適切なものはどれか、1つ選べ。

- A. 認知症
 - B. 女性
 - C. 疼痛
 - D. 薬物の多剤併用
 - E. 身体疾患の重症患者
7. 「問題 6.」の患者に対して、まず投与すべき薬剤として適切なのはどれか、2つ選べ。
- A. 抗酒薬
 - B. ジアゼパム
 - C. ビタミンB群
 - D. イミプラミン
 - E. レボドパ<L-dopa>

8. 83歳の女性。右大腿骨頸部骨折のため手術を受けた。手術当日の夜は意識清明であったが、手術翌日の夜間に、死別した夫の食事を作るために帰宅したいなど、つじつまの合わない言動が出現した。これまで認知症を指摘されたことはない。

この病態について正しいのはどれか、1つ選べ。

- A. 生命予後は悪化しない。
 - B. 抗精神病薬は禁忌である。
 - C. 認知症の初発症状である。
 - D. 意識の混濁が短時間で変動する。
 - E. ベンゾジアゼピン系薬剤が適応である。
9. 「問題 8.」の患者に対して、投与すべき薬剤として適切なのはどれか、2つ選べ。
- A. リスペリドン
 - B. ジアゼパム
 - C. 小柴胡湯
 - D. 大建中湯
 - E. 抑肝散

10. Tourette 症候群について正しいのはどれか、1つ選べ。

- A. 乳幼期に発症する。
- B. 発達の退行を伴う。
- C. 音声チックを認める。
- D. 6ヶ月以内に症状は消失する。
- E. 場面による症状の変動を認めない。

11. 21 歳の男性。奇妙な行動をとるため両親に伴われて来院した。1 週間前に大学院の入学試験を受けてから不眠が続いていた。本日から駅前のベンチの周りを、独り言を言いながら、約 3 時間ぐるぐる回っていたことで警察に保護されたため、両親に伴われて近くの総合病院を受診した。身振りや表情が乏しく、一点を凝視しており視線を合わせようとしない。急にニヤニヤするかと思うと、唐突に「なるほど」「だからか」などと、あたかも対話するように短く独語する。これまでに発達や適応上の問題はない。身長:175 cm、体重 120 kg、頭部 MRI 及び脳波で異常を認めないが、血液生化学所見では脂質・糖代謝異常が指摘されている。
- この疾患にみられる症状はどれか、1 つ選べ。
- A. 感覚失語
 - B. 行為心迫
 - C. 連合弛緩
 - D. 小動物幻視
 - E. 記銘力障害
12. 「問題 11.」の患者の診察時点での精神科診断として最も不適切なものはどれか、1 つ選べ。
- A. 統合失調症
 - B. 統合失調症様障害
 - C. 妄想性障害
 - D. 解離性障害
 - E. 物質使用障害
13. 「問題 11.」の患者に対して、投与すべき薬剤として不適切なのはどれか、2 つ選べ。
- A. リスペリドン
 - B. ジアゼパム
 - C. クエチアピン
 - D. ジブレキサ
 - E. ハロペリドール
14. 75 歳の女性。抑うつ気分を訴えるのを心配した隣人に付き添われて来院した。約 3 年前から徐々に物忘れが進行し、2 年前に Alzheimer 型認知症と診断され、ドネペジルを服用している。5 ヶ月前に長男が交通事故で死亡し、その直後から著大な抑うつ傾向を認め、「生きていても仕方がない」と頻繁に口にするようになった。夫は 10 年前に死亡し、現在は一人暮らしである。診察時、「死んだ長男のことはばかり考えているだけなので、治療はうけなくていい。家族にも連絡しないでほしい」と述べる。身体診察では異常所見を認めない。改訂長谷川式簡易知能評価スケールは 19 点(30 点満点)。
- 対応として適切なものはどれか、1 つ選べ。
- A. ドネペジルを増量する。
 - B. 出来るだけ安静にするよう指示する。
 - C. 家族への連絡の承諾を得られるよう説得する。
 - D. 病状を地域の精神保健福祉センターに連絡する。
 - E. 付き添ってきた隣人の同意を得て医療保護入院とする。
15. 「問題 14.」の患者瀕認められる可能性が高い症状として不適切なのはどれか、2 つ選べ。
- A. 希死念慮
 - B. 両価性
 - C. 抑うつ気分
 - D. 自責感
 - E. 解離症状

16. 17 歳の女子。い痩のため入院中である。高校に入学した 1 年半前から、痩せるために食事摂取量を減らすようになった。その後、食事制限に加えて毎朝 6 時から 3km のジョギンを始めたところ、4 ヶ月前から月経がなく、1 ヶ月前から倦怠感を強く自覚するようになった。自己誘発性の嘔吐や下剤の乱用はない。入院後も食事摂取量は少なく、「太りたくない」と訴える。小学校、中学校では適応上の問題は特になく、学業成績は良好であった。身長 158 cm、体重 30 kg。
- この患者で認められる可能性が高いのはどれか、2 つ選べ。
- A. 徐脈
 - B. 低体温
 - C. 恥毛脱落
 - D. 高カリウム血症
 - E. 高プロラクチン血症
17. 「問題 16.」の疾患について正しいのはどれか、1 つ選べ。
- A. 通常、体格指数 (Body Mass Index: BMI) は、17 以上である。
 - B. 抗うつ薬は、有効な場合が多い。
 - C. Refeeding 症候群では、低リン血症が死因となる。
 - D. 粗死亡率は、1% 程である。
 - E. 本人の希望がなければ、入院治療は行わない。
18. 「問題 16.」の患者の治療として、不適切なのはどれか、1 つ選べ。
- A. 行動療法
 - B. 精神分析
 - C. 家族療法
 - D. 認知療法
 - E. 栄養療法 (輸液・経鼻栄養等)
19. 患者の訴えのうち、抑うつ状態を最も疑わせるのはどれか、1 つ選べ。
- A. 「すぐにかっとなってしまいます」
 - B. 「何をするのも億劫で仕方ありません」
 - C. 「なんとなく落ち着かない気持ちになります」
 - D. 「昼間にうとうとすることが多くなりました」
 - E. 「外に出ると誰かに見られているような気がします」
20. アルコール依存症で見られる神経学的所見のうち、小脳失調の所見はどれか、1 つ選べ。
- A. 外眼筋麻痺
 - B. 記憶力障害
 - C. つぎ足歩行不能
 - D. Romberg 徴候陽性
 - E. 手袋靴下型感覚障害
21. 疾患と症状の組み合わせで誤っているものはどれか、1 つ選べ。
- | | |
|-------------------------|---------|
| A. 心気症 (病期不安症) | … 身体的愁訴 |
| B. うつ病 | … 心気妄想 |
| C. 強迫性障害 (強迫症) | … 作為体験 |
| D. 統合失調症 | … 妄想知覚 |
| E. 心的外傷後ストレス障害 < PTSD > | … 過覚醒 |

22. 自記式の心理学的検査はどれか、1つ選べ。
- A. Rorschach テスト
 - B. 津守・稲毛式発達検査
 - C. 状態特性不安検査＜STAI＞
 - D. Mini-Mental State Examination＜MMSE＞
 - E. 簡易精神症状評価尺度[Brief Psychiatric Rating Scale＜BPRS＞]
23. 自我障害と考えられる症状はどれか、1つ選べ。
- A. 恐怖
 - B. 自閉
 - C. 両価性
 - D. 離人感
 - E. 強迫観念
24. 次のうち、正しいのはどれか、2つ選べ。
- A. 感情失禁は適応障害で見られる。
 - B. 両価性はうつ病に特徴的である。
 - C. 自生思考は強迫性障害で見られる。
 - D. 作話は Korsakoff 症候群で見られる。
 - E. 言葉のサラダは統合失調症に特徴的である。
25. 45歳の男性。精神科閉鎖病棟を含む複数の診療科のある病院内で、廊下に座り込んでいるところを保護された。病院事務員が話を聞くと、その病院の精神科に通院している患者であること、統合失調症と診断されていること、単身で生活しており、すぐ連絡の取れる家族はいないことが分かった。患者は「自分は病気ではない。『しばらくこの病院の廊下で寝泊まりするように』という声が聞こえてきたから、廊下で寝る場所を探していた」と述べた。患者から話を聞いている現場には内科当直医、精神保護指定医の資格を持つ精神科医、当直の事務がいる。精神科医の診察の結果、入院が必要であると判断された。精神科医が入院の必要性について繰り返し説明したが、患者は拒否し、「このまま病院の廊下で寝泊まりする」と主張し譲らなかった。身長:175 cm、体重:110 kg、脈拍:85/分(整)、血圧:100/60 mmHg、体温 37.1℃、呼吸数:15 回/分、 SO_2 :99%。
- 現時点で最も適切な入院形態はどれか、1つ選べ。
- A. 任意入院
 - B. 措置入院
 - C. 応急入院
 - D. 医療保護入院
 - E. 緊急措置入院
26. 「問題 25.」の症例に最も適切な薬物治療はどれか、1つ選べ。
- A. リスペリドン
 - B. ジアゼパム
 - C. オランザピン
 - D. イミプラミン
 - E. メチルフェニデート

27. 次のうち、知能検査ではないのはどれか、1つ選べ。
- A. WAIS- III
 - B. BDI- II
 - C. K-ABC II
 - D. WISC-IV
 - E. 鈴木ビネー
28. 次のパーソナリティ検査のうち、投影法に属するものはどれか、1つ選べ。
- A. MMPI
 - B. TEG- II
 - C. CPI
 - D. MPI
 - E. TAT
29. うつ状態を呈しやすいのはどれか、2つ選べ。
- A. Pick 病
 - B. 正常圧水頭症
 - C. 心筋梗塞
 - D. Parkinson 病
 - E. Creutzfeldt-Jakob 病
30. 神経性大食症(過食症)について正しいのはどれか、1つ選べ。
- A. 体重は標準を超える。
 - B. 無月経を伴うことが多い。
 - C. 過食はしても絶食はしない。
 - D. 電解質異常と呼吸性アルカローシスをしばしば伴う。
 - E. 近年、神経性食思(欲)不振症よりも発生頻度が高い。
31. 適切な治療の組み合わせはどれか、1つ選べ。
- A. 統合失調症 … 精神分析療法
 - B. 強迫症 … 暴露(防止)療法
 - C. 変換症(転換性障害) … 修正電気けいれん療法
 - D. 境界性パーソナリティ障害 … 高照度光療法
 - E. 双極性障害 … 抗うつ薬による薬物療法
32. 次のうち、誤っているのはどれか、1つ選べ。
- A. ドパミン作動薬はせん妄を起こす。
 - B. 抗パーキンソン病薬はせん妄を起こす。
 - C. 抗ヒスタミン薬は焦燥感を起こす。
 - D. インターフェロンはうつ状態を起こす。
 - E. 副腎皮質ステロイドは気分変調を起こす。

33. 向精神薬と薬理作用の組み合わせで正しいものはどれか、2つ選べ。
- | | |
|-------------|-------------------------|
| A. ベンラファキシン | … 選択的セロトニン再取り込み阻害 |
| B. 炭酸リチウム | … モノアミン酸化酵素阻害 |
| C. フルボキサミン | … セロトニン・ノルアドレナリン再取り込み阻害 |
| D. イミプラミン | … モノアミン再取り込み阻害 |
| E. リスペリドン | … ドパミン受容体遮断 |
34. ベンゾジアゼピン系薬物の薬理作用として間違ったものはどれか、1つ選べ。
- A. 抗うつ作用
B. 抗不安作用
C. 抗けいれん作用
D. 筋弛緩作用
E. 催眠作用
35. 25歳の未婚女性。過量服薬のため救急車で搬送された。これまでも慢性の抑うつ状態の中で死にたいとしきりに訴え、手首を切るなどの自傷行為や家族の目の前で車に飛び込もうとする行動がみられていた。こうした衝動行為の後にはイライラ感が減少するという。気分が良いときは相手には極端な行為を寄せて付き合うかと思うと、些細な行き違いから急に怒りだしては相手をひどく責めることが度々あった。また、男女関係ではこれまで同棲しては分かれるということを2回繰り返し、仕事も転職を繰り返して、現在は無職である。最も考えられる診断はどれか、1つ選べ。
- A. パニック症
B. 境界性パーソナリティ障害
C. 気分循環気質
D. 気分変調症
E. 統合失調感情障害
36. 「問題 35.」の疾患に見られないものはどれか、1つ選べ。
- A. 不安定な感情
B. 孤立への欲求
C. 持続的な空虚感
D. 繰り返す自傷行為
E. 不明瞭な自己像
37. パーソナリティ障害とその特徴の組み合わせで正しいのはどれか、1つ選べ。
- | | |
|------------------|--------|
| A. 強迫性パーソナリティ障害 | … 嗜癖 |
| B. 演技性パーソナリティ障害 | … 被暗示性 |
| C. 回避性パーソナリティ障害 | … 冷淡 |
| D. シゾイドパーソナリティ障害 | … 攻撃性 |
| E. 反社会性パーソナリティ障害 | … 几帳面 |
38. 精神科面接の説明で正しいものはどれか、1つ選べ。
- A. 初診では問診の項目すべてを網羅的に尋ねる必要がある。
B. 半構造化面接とは、closed question の割合が半分以上設定されたものである。
C. 初診時に家族が共に来院した場合には、患者本人と家族、それぞれの意見を聴取すべきである。
D. 患者と家族の間で話が食い違っている場合には、必ず患者の意見を優先すべきである。
E. 精神科においては、面接は検査としての側面が強い。

39. 次のうち、正しいものはどれか、3つ選べ。
- A. 精神疾患の診断の際、中毒性物質の使用の有無を確認することは、とても重要である。
 - B. 精神疾患の診断の際、甲状腺機能やビタミン値の異常を確認することは、とても重要である。
 - C. 病歴聴取は、本人に行えば十分である。
 - D. ドパミントランスポーターシンチグラフィ(DAT シンチ)は、黒質線条体のドパミン神経の変性、脱落の程度を強化する検査である。
 - E. レビー小体型認知症では、脳血流シンチグラフィで頭頂葉、後部帯状回、楔前部の血流低下を認めることが多い。
40. 19歳の男性。大学生。2週間前から自分の部屋に閉じこもるようになり、日中はベッドの上にいることが多くなった。夜はぶつぶつ独り言を言いながら、自室内を歩き廻り、3日前から自室から一歩も出ず家族と全く会話をしていない。食事摂らないので、心配した家族がドアを破壊して入室した。髪はボサボサ、ヒゲは伸び放題でベッドに座り下を向いたままであった。開眼はしているものの呼びかけでも発語はなく、同じ姿勢を保ち続けていた。家族は困惑し精神保健福祉センターに相談して精神科を受診した。精神保健指定医の質問に対して、時にうなずくような動作はするものの返答は全くなかった。入院の必要性を説明するが患者の同意は得られなかった。
- 精神科病棟への入院形態として適切なのはどれか、1つ選べ。
- A. 任意入院
 - B. 応急入院
 - C. 医療保護入院
 - D. 措置入院
 - E. 緊急措置入院
41. 「精神保健福祉法」に規定されている入院に関する次の記述のうち、正しいのはどれか、2つ選べ。
- A. 精神科病院の管理者は、精神障害患者を入院させる場合、本人の同意に基づいて入院が行われるように努めなければならない。
 - B. 任意入院では、精神保健指定医の診察により、24時間以内に限り退院を制限することが出来る。
 - C. 医療保護入院は、本人の同意が無くても、家族等のうちいずれかの者の同意に基づき行われる。
 - D. 医療保護入院では、患者の家族等がいない場合、都道府県知事の同意により入院させることが出来る。
 - E. 措置入院は、自傷他害の恐れがあると認めた場合、警察署長の権限により入院させることが出来る。
42. 次のうち、精神科病棟において精神科保健指定医の判断を必要とする事項はどれか、1つ選べ。
- A. 患者の身体拘束
 - B. 医療保護入院患者の退院
 - C. 身体合併症治療時の食事制限
 - D. 任意入院患者にたいする面会の制限の開始
 - E. 医療保護入院患者の12時間を超えない隔離

* 模範解答

番号	解答	出典	番号	解答	出典	番号	解答	出典
1	B	112A6	16	A, B	112D71	31	B	
2	C, E	3 の関連問題(作問)	17	C	16 の関連問題(作問)	32	C	
3	D	112A26	18	B	16 の関連問題(作問)	33	D, E	
4	E	112A42	19	B	112E8	34	A	
5	C	4 の関連問題(作問)	20	C	112E12	35	B	99H6
6	B	7 の関連問題(作問)	21	C	112E15	36	B	
7	B, C	112A63	22	C	112F8	37	B	
8	D	112B31	23	D	112F15	38	C	
9	A, E	8 の関連問題(作問)	24	D, E	112F37	39	A, B, D	
10	C	112D4	25	C	112F46	40	C	
11	C	112D35	26	A	25 の関連問題(作問)	41	A, C	
12	D	11 の関連問題(作問)	27	B		42	A	
13	C, D	11 の関連問題(作問)	28	E				
14	C	112D46	29	C, D				
15	B, E	14 の関連問題(作問)	30	E	104D19 改			

* 授業(2018 の授業について)

毎回最初に事前学習の確認としてミニテストがあります。今年から事前学習用に pdf が配布されました。それを読めば 8 割、9 割は取れると思います。前年度までは国試中心の問題でしたが、今年は pdf の事前配布もあってか、その資料に基づいたものでした。

ミニレクチャーは出席が基本。出席すれば点がもらえる。ぜひ出ましょう。

一応レポートはあるけど、映画の点数も出席だと思う。今年は『ソレがうつになりまして』と『ランボー(多分 1)』(例年一緒じゃない)、映画による診断能力テストは『クワイエットルームへようこそ』だった。それぞれ映画を見ながら、登場人物に関する精神疾患について記述 or 記号で答えるというもの。映画による診断能力テストは今年からの試み。難しかった…。これは、いろんな精神科患者が登場して、パーソナリティ障害や摂食障害の細かい分類まで覚えてないといけなような問題だった。

メインはロールプレー(劇)で、いかに楽しくやれるかが大事(チュートリ班でやる。テーマは先生が決める)。結構恥ずかしいけど、結局やるならはっちゃけて(はっちゃけたほうが点数高い)。今年はわりと下ネタも豊富だった。

チュートリに関してはレポートはないよ。

* 雑感

精神科は配点が細分化されており、いろんなところで予防線がはられているので、まず落ちることはないと思う。勉強はしないって感じですが、点数が低いから落ちるというわけでもなく、出席することが大事。

ミニテストは事前にちゃんと準備しておいたほうがいいけど、当日の朝、太字だけガッって覚えていく短期記憶タイプでもなんとかはなる。ミニテストのために事前資料を読んでおく程度で普段の勉強は大丈夫だと思います。特におすすめの教科書とかは無いですが、レビューブックぐらいはあってもいいかもです。簡単にまとまっています。

筆記試験の問題は国試の問題がメイン。調べた感じ、直近の国試を題材に問を増やしている模様(2019 は第 113 回の国試を見ておくといいと思う)。それ以前を見た感じだと、数年分やっておいた方がいい感じ? やっておくとテストの現場で自信もって受かったと思える。ただ、先生が実際に受け持った症例や、国試の問題でも問が増やされていたり、少し変わっていたりもするのでそこだけは注意!(答えはテスト後すぐ張り出される、後輩用に確認してあげてください)

合間合間にメドセンが入ったり、出席しなきゃいけないかったりという事だけはストレスフルだけど、基本落ちないので安心してもらえればいいと思う。楽しい年末をお過ごしください。

* 追試者: 5 人(分布図の張り紙有、追試者には学務より電話連絡)(追試日: 2019 年 1 月 18 日)

→ 個々に対応(例えば、ミニテストの出席が足りていなければ、その分の問題を解くとか、純粋に点が足りなければ、本試をもう一回解くとか。)